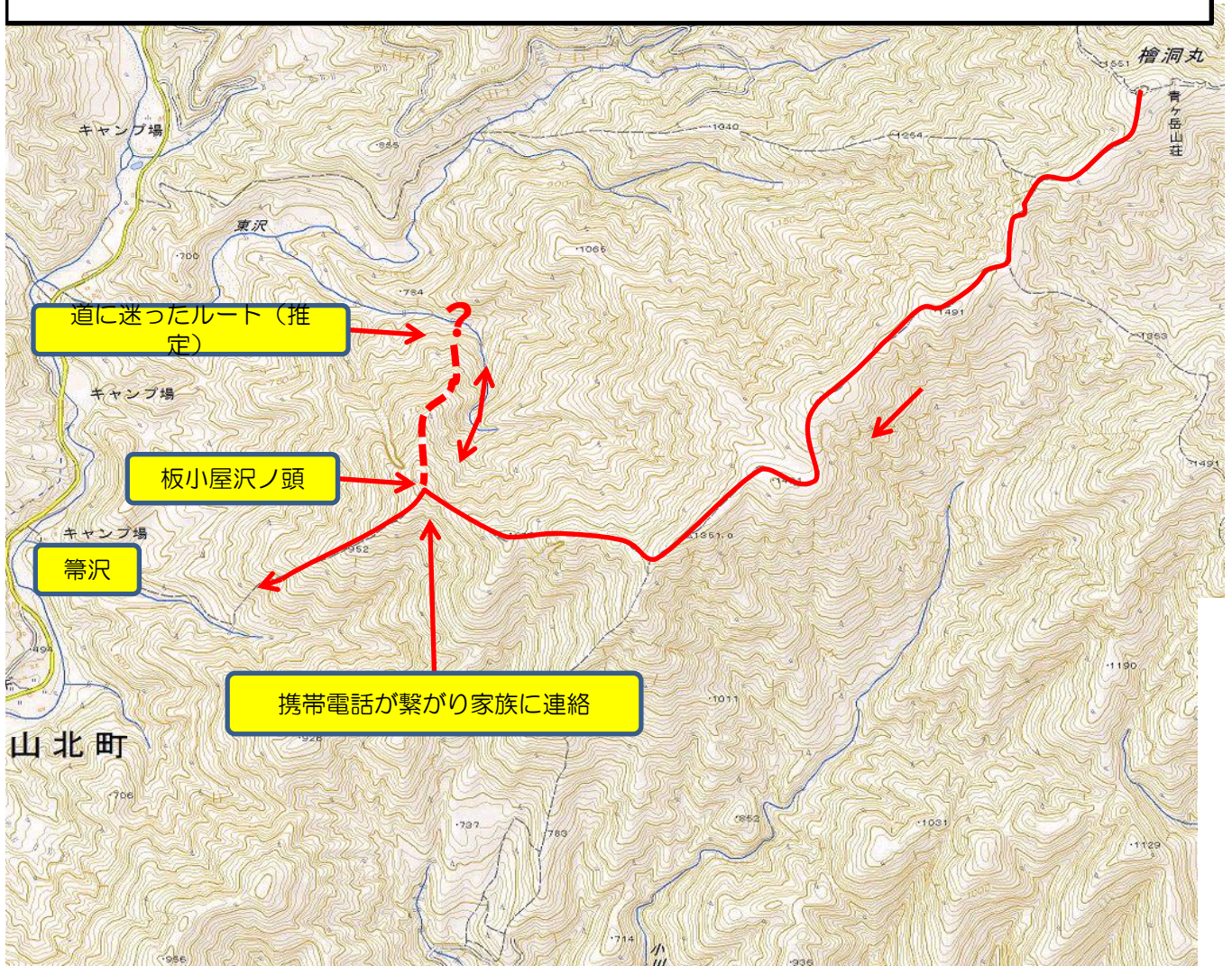


## 石棚山遭難(2013年10月)

71歳男性は箒沢に下る予定が、板小屋沢ノ頭分岐で迷い込む。翌日板小屋沢ノ頭まで登り返し、家族に連絡し事なきを得た。



## 解説

板小屋沢ノ頭分岐で90度南西に方向を変えないといけない。しかし、疲労からだろうか、注意が散漫になり分岐を直進してしまう道迷いは比較的多い。また、複雑な地形に加え、里山では獣道や道に迷ったためにできた偽りの道が存在してしまう。

翌日朝に家族が通報し、救助隊が出動準備をしていた10時ごろ、板小屋沢ノ頭へ戻った男性から家族へ電話連絡が入り事なきを得た。

翌日、間違えた道を引き返し、板小屋沢ノ頭から電話連絡をしたことがよかった。冷静な判断と行動が最悪の事態を招かなかった事例であった。